

- 1 学 年 ・ 組 第1学年1・2組（a2）（26名）
- 2 科 英語コミュニケーション I
- 3 単 元 名 Lesson2 Australia's Cute Quokkas
 ALL Aboard! English Communication I（東京書籍）

4 単元について

（1）単元観

本単元は、オーストラリアに生息するクオッカの生態と、クオッカが生息する場所として多くの観光客を集めているロットネスト島についての説明文である。クオッカはその見た目のかわいらしさから世界中の人々を魅了していること、ロットネスト島には多くの観光客が訪れていること、島ではクオッカを守るためのルールが設けられていることなどが紹介されている。動物や外国という生徒の興味を喚起しやすいテーマであるため、学んだ内容に関連する事柄について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うのに適した題材であるといえる。

本単元では、教科書で学んだ内容に関連した話題について、主体的に情報や考え、気持ちを伝え合う力を育成することを目標とする。この目標は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語科編 英語編「英語コミュニケーション I」「1 目標（3）話すこと〔やり取り〕」の「ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。」に基づいて設定した。

（2）生徒観

第1学年1・2組を出席番号により分割した少人数クラス（2クラス3展開）である。生徒の多くは英語に対して苦手意識をもっており、やり取りに関しては73.9%の生徒が「とても難しい・やや難しい」と感じている。難しいと感じる原因については、「言いたいことはあるが英語が思い浮かばない」、「相手に伝わるかが不安」が多くを占めている。

今までの指導を振り返ってみても、生徒たちに英語でのやり取りを満足に行わせることができているとは言いがたい。相手に伝わる発話をすることができないことや、会話を続けることができず、単発なやり取りに終始してしまうこと、その前段階として、言語活動に参加する意欲自体が乏しいこと（指導者が生徒の意欲を喚起できていないこと）が課題として挙げられる。

（3）指導観

指導に当たっては、次の3点に留意する。

- ① 生徒が必然性を感じながら主体的に取り組むことができるよう、言語活動における目的や場面、状況の設定に工夫をする。
- ② 会話を続けることができるように、単元を通して生徒に「受ける・ふくらます・返す」の視点を意識させつつやり取りを行わせる。また、生徒に対して「受ける・ふくらます・返す」の視点で継続的にフィードバックを行う。
- ③ フィードバックを基に、生徒に自らの発話を「受ける・ふくらます・返す」の視点で振り返らせ、やり取りを修正・改善させる。

5 単元の目標

日常的な話題（自分自身のことや、行きたい国、好きな動物や食べ物など）について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝え合うことができる。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる表現を理解している。 - 情報や考え、気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	情報や考え、気持ちなどを相手に理解してもらえるように、日常的な話題（自分自身のことや、行きたい国、好きな動物や食べ物など）について、基本的な語句や文を用いて伝え合っている。	情報や考え、気持ちなどを相手に理解してもらえるように、日常的な話題（自分自身のことや、行きたい国、好きな動物や食べ物など）について、基本的な語句や文を用いて伝え合おうとしている。

7 指導と評価の計画（全7時間）

時間	ねらい（■），言語活動（□），その他の学習活動等（○）	評価			
		知	思	態	評価方法
1	□【プレテスト】先生と親しくなるために、聞いてみたい話題について先生と英語でやり取りしましょう。 ○事前アンケート				※一斉に記録に残す評価は行わない。ただし、目標に即して生徒の活動の状況を見届け、指導に生かすことは毎時間行う。
2 3	■ALTの先生と、行きたい国についてやり取りができる。 【言語活動①】ALTの先生は外国である日本に来ることを選んだわけですが、あなたはどの国に行ってみたいですか。その国の何が魅力か、その国で何がしたいかなどについてALTの先生とやり取りしましょう。 ○プレテストに関する教師からのフィードバックを参考にして、生徒同士でやり取りを行う ○やり取りの内容について、教師からのフィードバックを基に改善点を見いだす ○Part 1 語彙の定着活動 ○Part 1 本文理解 □ALTの先生とやり取りを行う				
4 5	■ALTの先生と、好きな動物についてやり取りができる。 【言語活動②】ALTの先生は動物が好きで、特に犬をこよなく愛しています。あなたの好きな動物についてALTの先生とやり取りしましょう。 ○言語活動①に関する教師からのフィードバックを参考にして、生徒同士でやり取りを行う ○やり取りの内容について、教師からのフィードバックを基に改善点を見いだす ○Part 2 語彙の定着活動 ○Part 2 本文理解 □ALTの先生とやり取りを行う				
6	■フィードバックを受けて、自分のやり取りを修正・改善することができる。 ○言語活動②に関する教師からのフィードバックを参考にして、自身のやり取りを修正・改善する ○教科書の課末問題に取り組む				
7	□【ポストテスト】ALTの先生と親しくなるために、聞いてみたい話題についてALTの先生と英語でやり取りしましょう。 ○事後アンケート		○	○	
後日	○ペーパーテスト	○			

※生徒の実態を把握するためにプレテスト及びポストテストを実施した。

8 ポストテスト

実施の形態

A L T との対面式

生徒に提示する課題

A L T の先生は昨年の夏に日本にやってきました。約 1 年間松永高校に来ているわけですが、1 年生のみなさんとはまだまだ短い付き合いです。そこで、お互いに親しくなるために、みなさんが A L T の先生に聞いてみたい話題について英語でやり取りしましょう。

生徒に提示する評価項目

- ・ A L T の先生に聞いてみたい話題についてやり取りしよう。
- ・ A L T の先生の話聞いて、①反応を示したり、②話をふくらませながら質問に答えたり、③質問をしたりしよう。

評価規準 (T: Teacher, S: Student)

A	B	C
相手の話を聞いて、詳しい情報を加えて① <u>反応を示したり</u> 、② <u>話をふくらませながら質問に答えたり</u> 、③ <u>質問をしたり</u> している。	相手の話を聞いて、① <u>反応を示したり</u> 、② <u>話をふくらませながら質問に答えたり</u> 、③ <u>質問をしたり</u> している。	相手の話を聞いて、① <u>反応を示したり</u> 、② <u>話をふくらませながら質問に答えたり</u> 、③ <u>質問をしたり</u> できている(3つの要素をすべて満たしていない)。
S) What is your favorite animal? T) I like quokkas. Australia is famous for quokkas. S) <u>Oh, I see. You like quokkas. Have you ever held it?</u> T) No, there is a rule that you are not allowed to touch them. S) <u>Ah, yes. I learned about that in class.</u> T) So, what is your favorite animal? S) <u>I like dogs. I especially like pugs. They are so cute. Do you often see pugs in Australia?</u> T) No, I have never seen anyone who has a pug in Australia. S) <u>OK. Maybe pugs are not so popular in Australia.</u>	S) What animal you like? T) I like quokkas. Australia is famous for quokkas. S) <u>Oh, I see. Did you touch quokka?</u> T) No, there is a rule that you are not allowed to touch them. S) <u>I know that.</u> T) So, what is your favorite animal? S) <u>I like dog. Pug very like, cute. Do you know pug?</u> T) Yes, I know pugs, but I have never seen anyone who has a pug in Australia. S) <u>OK.</u>	S) What animal you like? T) I like quokkas. Australia is famous for quokkas. S) ... T) Do you know koalas? They are my favorite too. S) <u>Yes, they are cute.</u> T) Australia has many unique animals. S) ...

9 本時の展開

【第3時】

(1) 本時の目標

ALTの先生と、行きたい国についてやり取りを行うことができる。

(2) 準備物

教科書、ワークブック、スピーカー、タブレット、スクリーン、プロジェクター

(3) 学習の展開

時間 (分)	学習活動[学習活動] [全]:全員, [個]:個人, [ペア]:ペア	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準 [観点] 評価方法
00	あいさつ		
01	単語テスト[個]	◇テスト後に全体で意味の確認, 音読を行うことで, さらなる定着を図る。	
07	本時の目標を提示する[全]		
ALTの先生と、行きたい国についてやり取りができるようになるう。			
08	前時の復習[全]	◇本時で行う言語活動について説明する。	
12	Part 1 語彙の定着活動[全・ペア] ・全体での意味の確認, 音読 ・ペアでの読み合わせ	◇教科書の内容に関わる写真をプロジェクターで投影し, 生徒の背景知識を再度活性化させるとともに, 題材についての興味・関心を喚起する。	
15	Part 1 本文理解[全] ・リスニング ・Q and A	◇生徒がそれぞれの単語を正確に発音できるようにするため, 丁寧に発音指導を行う。	
30	言語活動① ALTの先生は外国である日本に来ることを選んだわけですが, あなたはどの国に行ってみたいですか。その国の何が魅力か, その国で何がしたいかなどについてALTの先生とやり取りしましょう。 ・振り返り	◇やり取りの継続に向けて「受ける・ふくらます・返す」の視点を意識させる。また, 生徒自身に思考させ, 自由な発話を促すために使用する言語材料については明示しない。 ◇やり取りはiPadで録音して生徒の振り返りに生かす。 ◆やり取りを続けることが難しい生徒には, 前時で行ったやり取りの練習とフィードバックの内容を思い出させる。	一斉に記録に残す評価は行わないが, 目標に即して生徒の活動の状況を見届け指導に生かすことは行う。
50	あいさつ		